

一般質問通告書

【第70回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様

多可町議会議員

辻 誠一 

受 領 日

番号

平成28年6月2日

午前・~~午後~~ 2時25分

6

質問の項目及び要旨

答弁を求める者

1.

合計特殊出生率2.81を目標値としてほしいか

町長

別紙

2.

空き家の活用で転入増を目指せ

町長

別紙

3.

質 問 の 内 容

1. 合計特殊出生率 2.81 を目標値としてはどうか

定住に関する町民意識アンケート調査結果に見ると、18歳から49歳の配偶者のいる住民の回答では、現在の子供の人数が平均1.97人であるのに対し、理想の子供の人数は平均2.60人であり、出産・子育てのしやすい環境を整えることにより、合計特殊出生率が改善する可能性があります。

多可町でも合計特殊出生率2.81を目標値としてはどうか。

岡山県奈義町は、子育て応援宣言を発表後町の雰囲気が変わり、多子世帯が増えました。合計特殊出生率は、平成26年に2.81を記録しました。この町の取り組んでいる子育て支援策で、多可町にないものは、出産祝い金や各種予防接種への助成などわずかです。多可町でもまずは「子育て応援」を宣言してはどうか。

次に住宅の確保も大切です。奈義町では戸建て住宅や雇用促進住宅を買い取って、若者専用の賃貸住宅として活用しています。多可町には、民間のアパートが多数あります。これらアパートを「若者専用の賃貸住宅」として活用するために「家賃補助制度」を作ってはどうか。

2. 空き家の活用で転入増を目指せ

鳥取県日南町では、林業や農業での就労などを求めて若者の転入が相次いでいます。また大阪などからも田舎暮らしを求めて少なくない人が転入してきています。

大阪からこの春に転入され、移住コンセルジュとして勤務されている職員さんにお話を伺いましたが、日南町を選択するに至った第一のステップは、「鳥取県は移住者に手厚い」という点。次にホームページに町の景色が載っており、町の雰囲気が伝わった。と語っておられました。多可町のホームページにも町の景色が掲載されていますが、もう少し工夫が必要なのは。

また、この町には「お試し住宅」というものがありました。多可町でも、例えば山寄上や岩座神などの集落に協力を求めて、空き家を町が借り上げリフォームして、「お試し住宅」として活用してはどうか。

さらに、現在実施されているリフォーム助成や中古住宅購入助成などは、町の空き家バンクに登録している場合、助成金額を引き上げてはどうか。合わせて、空き家バンクに登録していることを条件に、リフォーム見積助成制度を創設してはどうか。

合わせて空き家バンクに登録された情報を西脇は当然として、丹波や三田の宅建協会とも共有することで都市部住民にも情報提供される機会が増えると思うが、どうか。